



食の未来づくり運動

心をつなぐももータオルキャンペーン ～酪農危機の今こそ ありがとうの想いをタオルとともに届けよう～



ももータオル贈呈式

開催 2023年11月18日 **会場** 千葉北部酪農農業協同組合 高秀牧場 **主催** 組合員活動委員会

千葉北部酪農農業協同組合 高秀牧場(千葉県いすみ市)近くの会場で「ももータオル贈呈式」が開催され、19人(うち子ども6人)が参加しました。

参加した子どもたちから代表理事組合長の高橋憲二さんに、組合員から集めた白いタオルとメッセージの一部が手渡され、高橋さんからは「たくさんのタオルと心温まるメッセージをいただきありがとうございました」と感謝状をいただきました。

交流会では、世界情勢や異常気象の影響、飼料価格高騰などが酪農家の経営を圧迫し危機的状況であること、国産の飼料で牛乳や牛肉の生産を行う「里山プロジェクト」構想



みんなの想いを届けました!

についてのお話を伺い、参加者からは「飼料高騰など大変なことばかりだと思いますが頑張ってください」「八千代牛乳を飲む時に作っている人のことを考えて飲みたい」などの感想がありました。

※東都生協では、「八千代牛乳」の生産者が搾乳時に使うタオルを1年おきに組合員から募集して贈っています。



タオルをありがとう!
牛のお乳を
拭きますね～



経産牛のハンバーグでランチ交流

行動目標 1 食料自給率の向上

行動目標 2 日本に農業を元気に

行動目標 3 持続可能な社会に向けて

「1人が5人に地域で食の未来づくり運動を伝え、その輪を広げよう」

2023年度「第3回 商品について議論する場」

共通テーマ「持続可能な生産と消費」

個別テーマ「農業の生産現場の現状と課題、加工品(おかずキット)に取り組む理由・思い」

開催 2023年11月22日 **会場** さんぼんすぎセンター **主催** 商品委員会

講師 JAやさと 廣澤和善専務理事、芝間和重産直課課長、立原里紗職員

「商品について論議する場」はこれまでオンラインで開催してきましたが、初の集会型をさんぼんすぎセンターにて開催し、学習会に加えて、調理試食も行いました。

「産直産地の野菜と産直肉を使ったおかずキット」を望む組合員の声を受けて開発し、2021年6月よりJAやさと(茨城県石岡市)の野菜・肉を使った商品の供給がスタートしました。

参加した商品委員からは、「万人向けは難しいと思うが、試行錯誤し工夫していることがよく分かった」などの感想が出されました。

JAやさとは、地域循環型農業や新規就農者受け入れなど先進的な取り組みを行っており、その取り組みが評価されて2023年に有機栽培部会が「第52回日本農業賞 集団組織の部大賞」、第62回農林水産祭の園芸部門で「内閣総理大臣賞」を受賞しています。

廣澤和善専務理事からは、「東都生協の食べる約束があるから作ってこられた。今後も組合員と産地が互いに思いを伝えられる関係を継続し、農業の現状について理解を深めてほしい」「持続可能な生産と消費のために国産の物を利用しましょう」と呼び掛けがありました。

1月には組合員と共に開発した「おかずキット」も新登場。生産者と消費者が一体となって食について考え行動していくことが食の未来づくりにつながることを再確認しました。



鶏肉と小松菜のガリバタ醤油炒め(産直鶏肉使用)



キムチ鍋
(産直豚肉使用)



今月のつばやき

春は終わりと始まりの時季。昨年末に咲き始めたわが家の枇杷も実を少しずつ大きくしながら冬を越してくれ、初夏の収穫が楽しみです。4月からは組合員活動も新たな形で始まります。「ありがとう」と「よるしく」の新年度の始まりにドキドキ、ワクワクしています。読んで楽しい&「へえ、そうなんだ!」と学べる情報を発信できるように頑張ります! (S.N)

お問い合わせ

産地直結ひとすじ。いちばん頼れる生協に。

共同購入事業部 組合員活動推進グループ

☎03(5374)4756 月曜～金曜日:午前9時～午後4時

E-mail:kumikatsu@tohto.coop

〒156-0055 東京都世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4階

東都生活協同組合